



株式会社 **CE** ホールディングス



証券コード  
4320

# 2022年9月期 第1四半期決算補足説明資料

2022年 2月

# 目次



2022年9月期 第1四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

医療及び医療情報システム市場の動向

グループ概要

# 目次



2022年9月期 第1四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

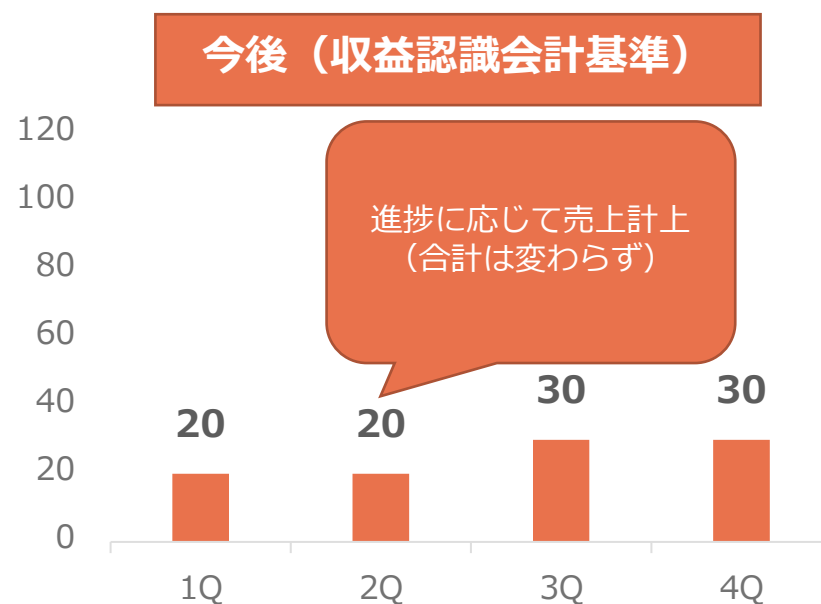
医療及び医療情報システム市場の動向

グループ概要

# 収益認識会計基準等の適用



- 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用。
- 医療機関を中心としたS I作業を伴う医療情報システムの請負契約案件について、少額又はごく短期のプロジェクトを除き、従来の検収基準（製品・サービスの提供を完了し、検収書を手にした日付によって売上を一括計上）から進行基準（受注時に売上原価総額を見積もり、原価発生の変進率に応じて売上を計上）に当期より変更。
- 収益認識会計基準等の経過措置を適用し、過年度の遡及修正は行っていないため、本資料の前年同期比はすべて参考値（受注高を除く）。



# 四半期損益計算書（連結）



単位：百万円	2021年9月期 第1四半期 実績	2022年9月期 第1四半期 実績	前年同期比 増減率
売上高	2,631	2,822	+ 7.2%
営業利益	75	113	+ 50.6%
経常利益	83	115	+ 37.7%
当期純利益	△ 10	7	—

- 電子カルテシステム「M I ・ R A ・ I s / A Z」の販売・保守が好調に推移した。
- 利益面においても同様。
- 「収益認識会計基準」等の適用（P.4参照）により、当第1四半期連結累計期間の売上高は15百万円減少し、売上原価は17百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加した。
- 収益認識会計基準等の経過措置を適用（P.4参照）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前年同期比はすべて参考値。

# セグメント別実績（連結）



単位：百万円		2021年9月期 第1四半期 実績	2022年9月期 第1四半期 実績	前年同期比 増減率
医療 ソリューション事業	売上高	2,597	2,786	7.3%
	セグメント利益	94	140	49.2%
その他	売上高	34	35	4.9%
	セグメント損失	△ 6	△ 3	—

■ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（P.4参照）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前年同期比はすべて参考値。

■ 「収益認識会計基準」等の適用により、医療ソリューション事業の売上高は15百万円減少し、セグメント利益は2百万円増加した。なお、その他においては影響なし。

・記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# セグメント別受注状況（連結）



単位：百万円	2021年9月期 第1四半期 実績		2022年9月期 第1四半期 実績		前年同期比 増減率	
	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高
医療ソリューション事業	1,998	3,862	<b>2,788</b>	<b>4,969</b>	+ 39.5%	+ 28.7%
その他	12	6	<b>6</b>	<b>11</b>	△48.5%	+ 74.4%
合 計	2,010	3,868	<b>2,794</b>	<b>4,981</b>	+ 39.0%	+ 28.7%

- 「収益認識会計基準」等の経過措置を適用（P.4参照）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前年同期比はすべて参考値（受注高を除く）。

・記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 目次



2022年9月期 第1四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

医療及び医療情報システム市場の動向

グループ概要



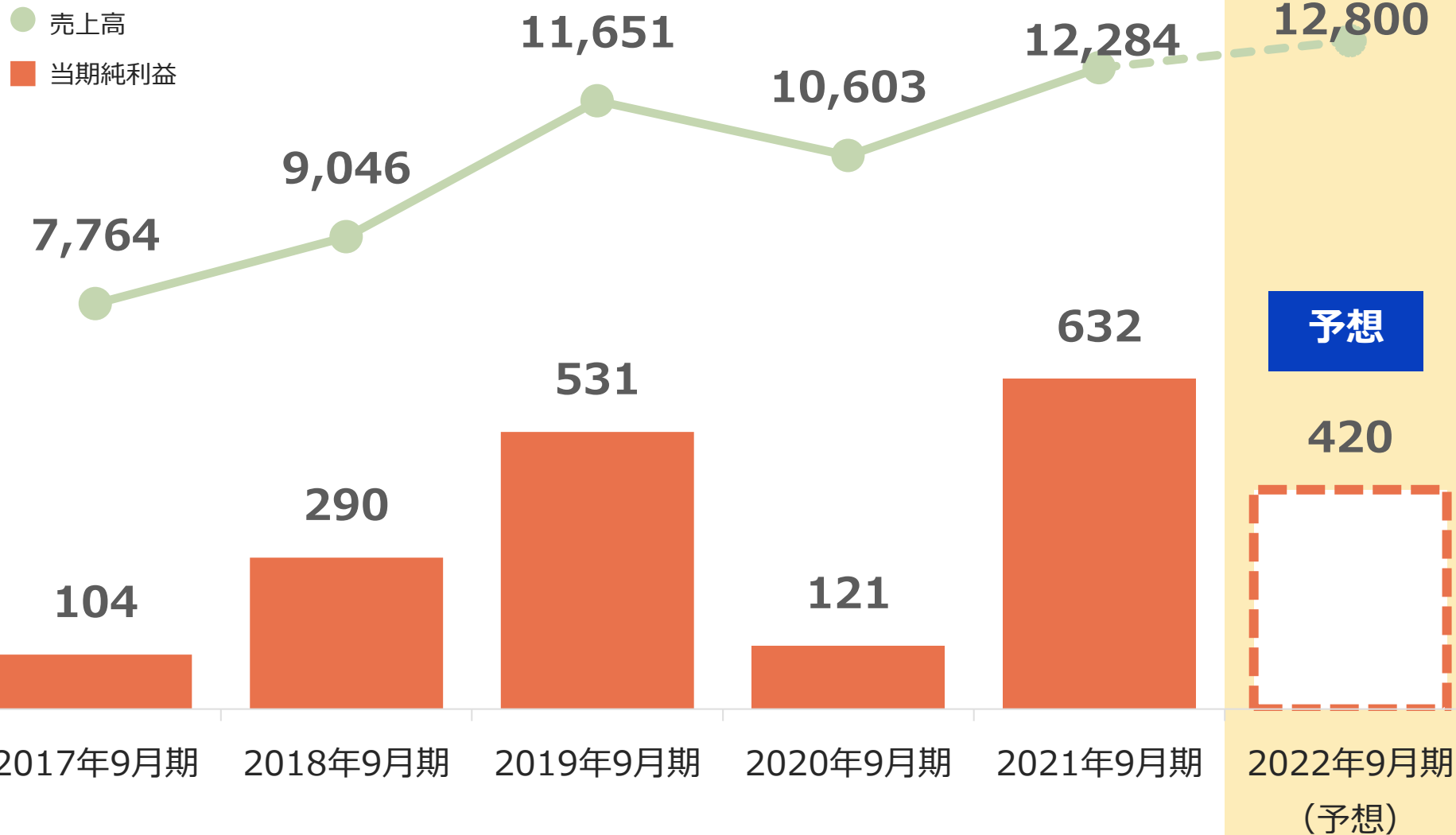
# 新型コロナウイルス感染症の影響について

## 2022年9月期 通期業績への影響

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びその長期化により、現在発生しているあるいは発生のおそれがある事象として以下のようなものがある。
  - 医療情報システムを受注した病院において、新型コロナウイルスの対策として病院関係者以外の施設内への立ち入り制限が行われる、あるいは、病院内での感染発生や当社グループもしくは販売パートナーの担当社員等が感染した場合、導入作業が中断し、納品が遅れることにより、売上計上が遅延する。
  - 医療機関が新型コロナウイルスの対策を優先することにより、当社グループまたは販売パートナーにおける営業活動が長期停滞した場合、受注状況が悪化する。
  - 支援を受注した医薬品等の臨床開発プロジェクトにおいて、予定された症例数（データ）を集められず、プロジェクトの進捗が遅延し、売上計上が延期する。

※ 例示であり、これに限るものではありません。

# 2022年9月期 業績見通し



# 2022年9月期 業績見通し



単位：百万円	2021年9月期 実績	2022年9月期 計画	前期比増減率
売上高	12,284	12,800	+ 4.2%
営業利益	879	800	△ 9.0%
経常利益	908	800	△ 12.0%
当期純利益	632	420	△ 33.6%

- 売上高は若干の増収となり、**2期連続で過去最高を更新**すると予想。
- 利益面について、2021年9月期は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、その前の期から延期された案件の売上計上が業績に大きく貢献した一方、2022年9月期は、**データ利活用を基軸としたサービスビジネスなどに向けた戦略投資のための研究開発費が増加**することなどにより、**営業利益は前期比で減益**となる見通し。加えて、2021年9月期は関係会社株式の売却により特別利益を計上したこともあり、**親会社株主に帰属する当期純利益も前期比で減益**となることを予想。

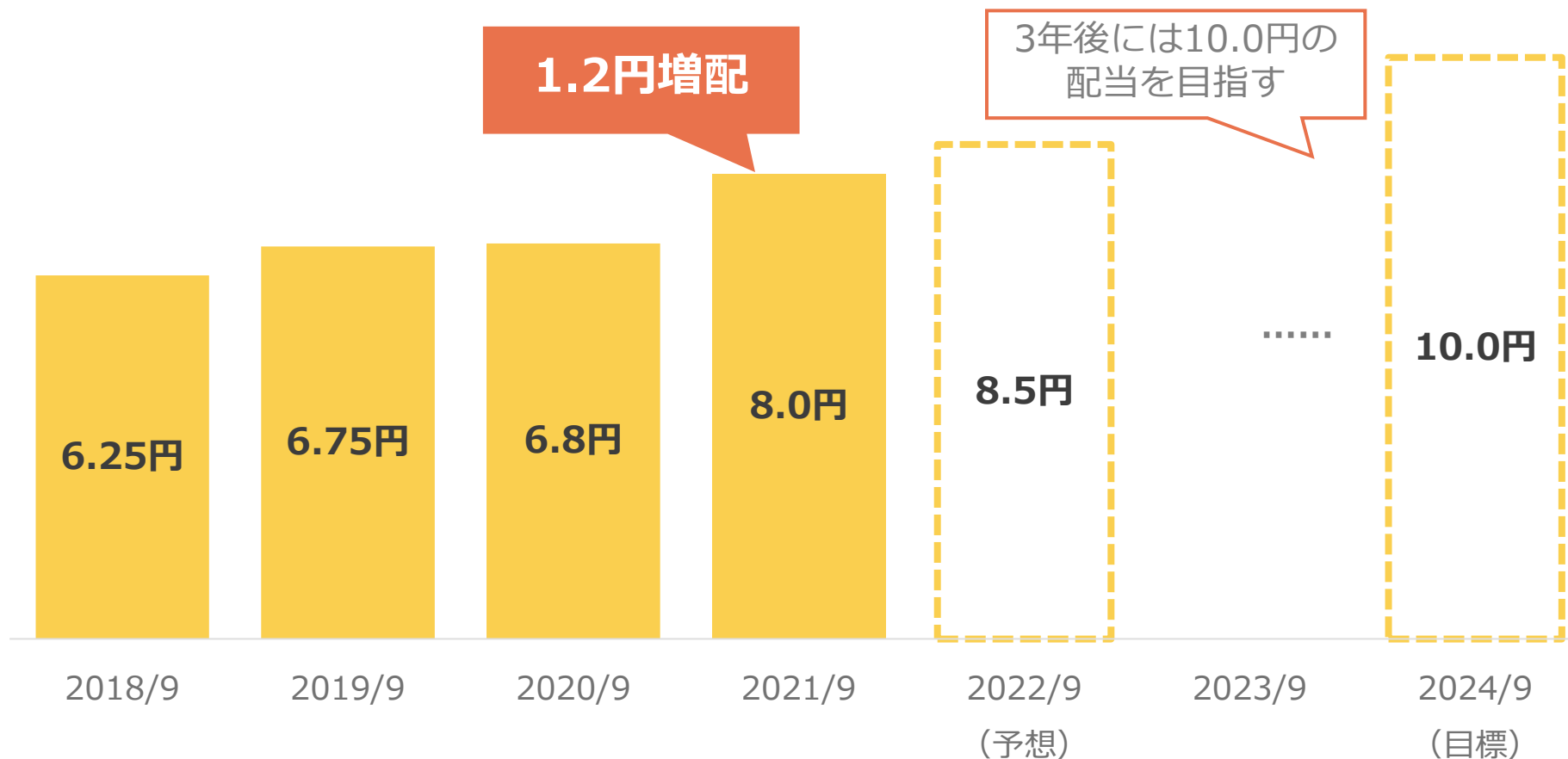
・2022年9月期の期首より「収益認識基準」等を適用したため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。そのため、前期比増減率は参考値です。

# 剰余金配当に関して



## 【利益配分に関する基本方針】

- 株主尊重を第一義として考え、利益配分については、経営基盤の一層の強化と事業拡大に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を継続して実施していく。



# 目次



2022年9月期 第1四半期業績

2022年9月期 業績見通し

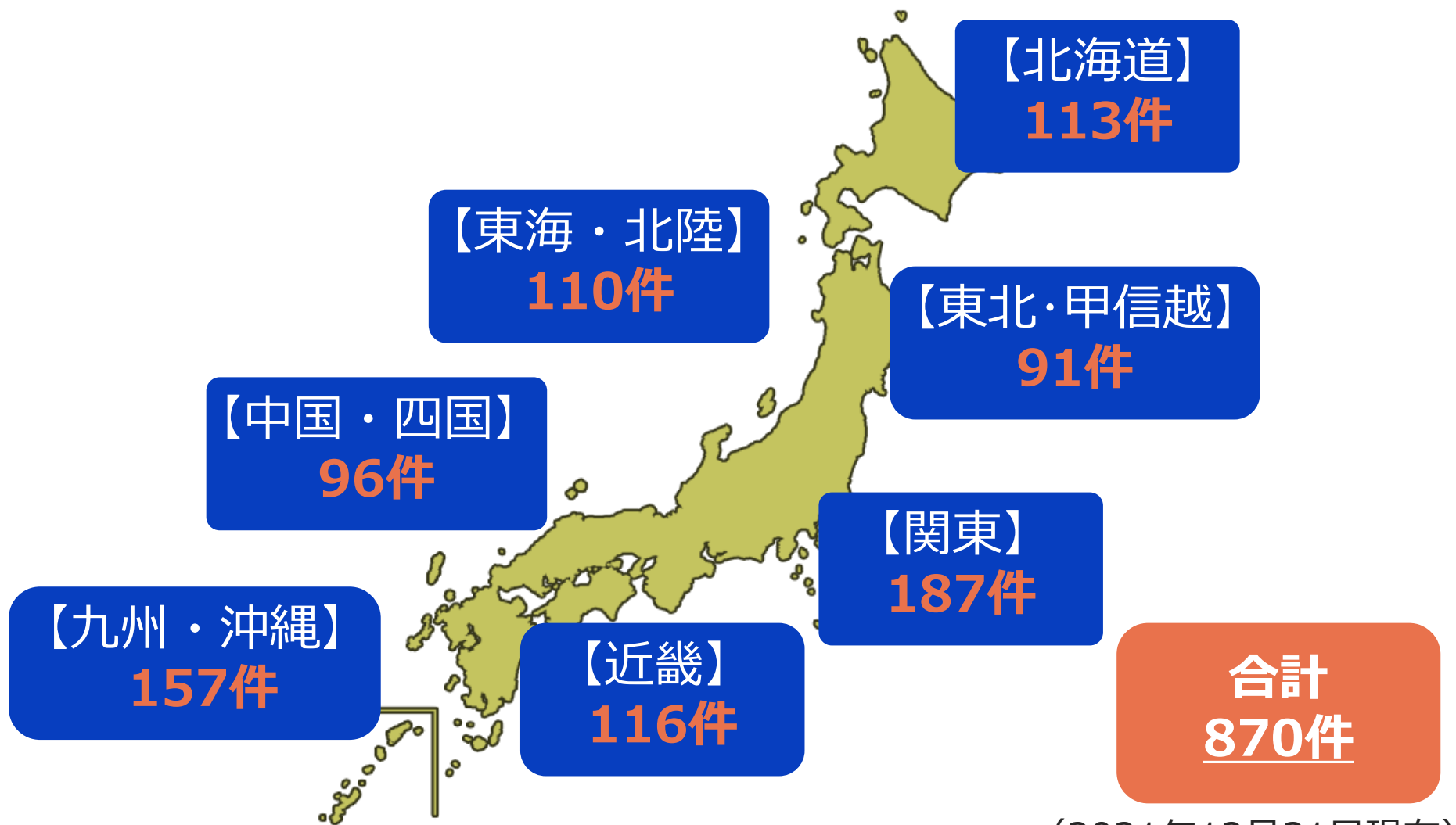
電子カルテシステム導入状況

TOPICS

医療及び医療情報システム市場の動向

グループ概要

# MI・RA・Isシリーズ導入実績

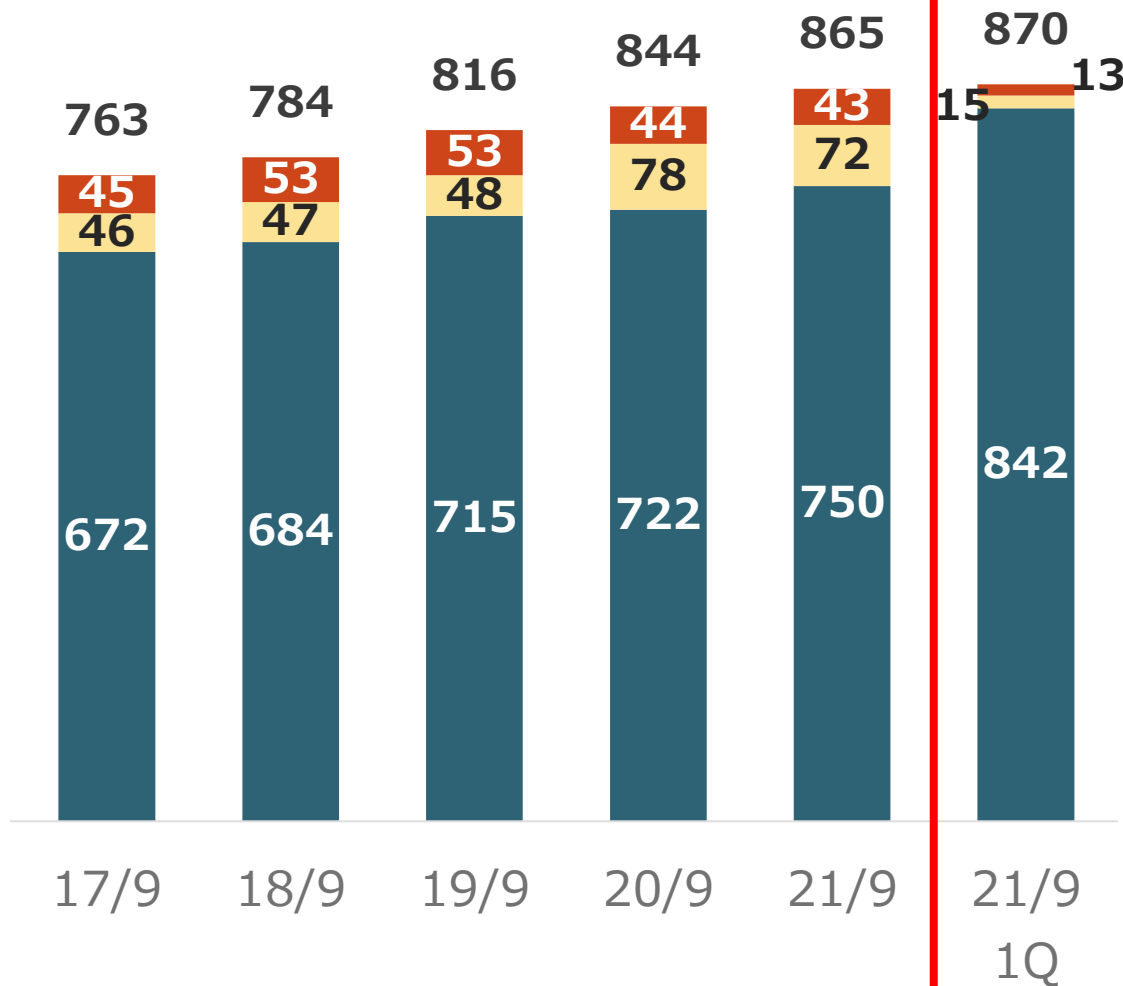
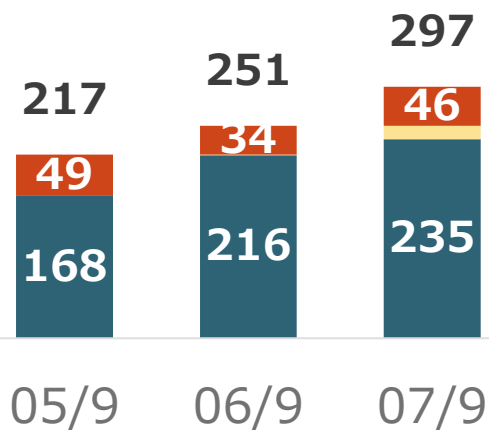


(2021年12月31日現在)



# MI・RA・Isシリーズ導入数推移

- 新規ユーザー  
(当期新規獲得)
- 継続ユーザー  
(当期アップグレード)
- 継続ユーザー



# 目次



2022年9月期 第1四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

## TOPICS

医療及び医療情報システム市場の動向

グループ概要

# 新市場区分への移行及び中期経営計画

## ➤ 12月6日 プライム市場選択を決議・申請

	当社の数値 (東証の一次判定結果) (2021年6月30日時点)	直近数値 (当社試算) (2021年9月30日時点)	プライム市場基準
流通株式時価総額	53.0億円	61.4億円	✕ 100億円

- プライム市場の上場維持基準充足に向けた具体的な計画・取り組みについては、「プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書」を開示  
(資料リンク：[20211206\\_prime-plan.pdf \(ce-hd.co.jp\)](https://ce-hd.co.jp/20211206_prime-plan.pdf))
- また、本計画書と整合した「中期経営計画」を、本計画書とともに開示  
(資料リンク：[20211206\\_mid-term.pdf \(ce-hd.co.jp\)](https://ce-hd.co.jp/20211206_mid-term.pdf))

# 中期経営計画 2024

下記成長戦略により、利益成長を加速する。

## 成長戦略1

### 既存事業の強みを生かした新たなサービスビジネスの創出

#### 重点施策

- 診断支援機能開発とサービス化
- SaMD（プログラム医療機器）スタートアップ支援サービス
- 訪問医療支援サービスの拡充

## 成長戦略2

### 既存事業に次ぐ、成長事業の創出

#### 重点施策

- デジタルマーケティング事業立ち上げ（サービスビジネス加速にも寄与）

## 成長戦略3

### 既存事業の収益拡大

#### 重点施策

- 「収益力強化」「原価低減」及び「生産性向上」による収益拡大

（注）重点施策はこれらに限定するものではなく、機動的に追加・見直しを行なう

2024年9月期  
（3年後）  
までの中期目標

- 当期純利益 : 7億円（5年後には10億円）
- 流通株式時価総額 : 95億円（5年後には140億円）
- 顧客医療施設数 : 1,100施設（5年後には1,200施設）

# 中期経営計画 2024 数値計画



	実績			中期経営計画 2024			(5年後目標)	
百万円	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期	2025年 9月期	2026年 9月期
売上高	11,652	10,604	12,284	<b>12,800</b>	<b>13,800</b>	<b>14,900</b>	16,350	18,000
営業利益	962	547	879	<b>800</b>	<b>980</b>	<b>1,200</b>	1,520	1,870
(営業利益率)	(8.3%)	(5.2%)	(7.2%)	<b>(6.3%)</b>	<b>(7.1%)</b>	<b>(8.1%)</b>	(9.3%)	(10.4%)
当期純利益 【※1】	514	312	553	<b>420</b>	<b>600</b>	<b>700</b>	820	<b>1,000</b>
当期純利益 【※2】	532	121	632					

(注) 本資料における「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。

【※1】 持分法適用関連会社であった駅探（持分法投資損益、株式売却益）及び特別損益の影響を除いた当期純利益（2021年9月期まで）

【※2】 上記調整を行なう前の、実際の当期純利益

サービスビジネスの創出・拡大に向けた戦略投資（研究開発）を実施しつつ、**2024年9月期 当期純利益 7億円**を実現する。  
(2026年9月期には当期純利益 **10億円**を達成)



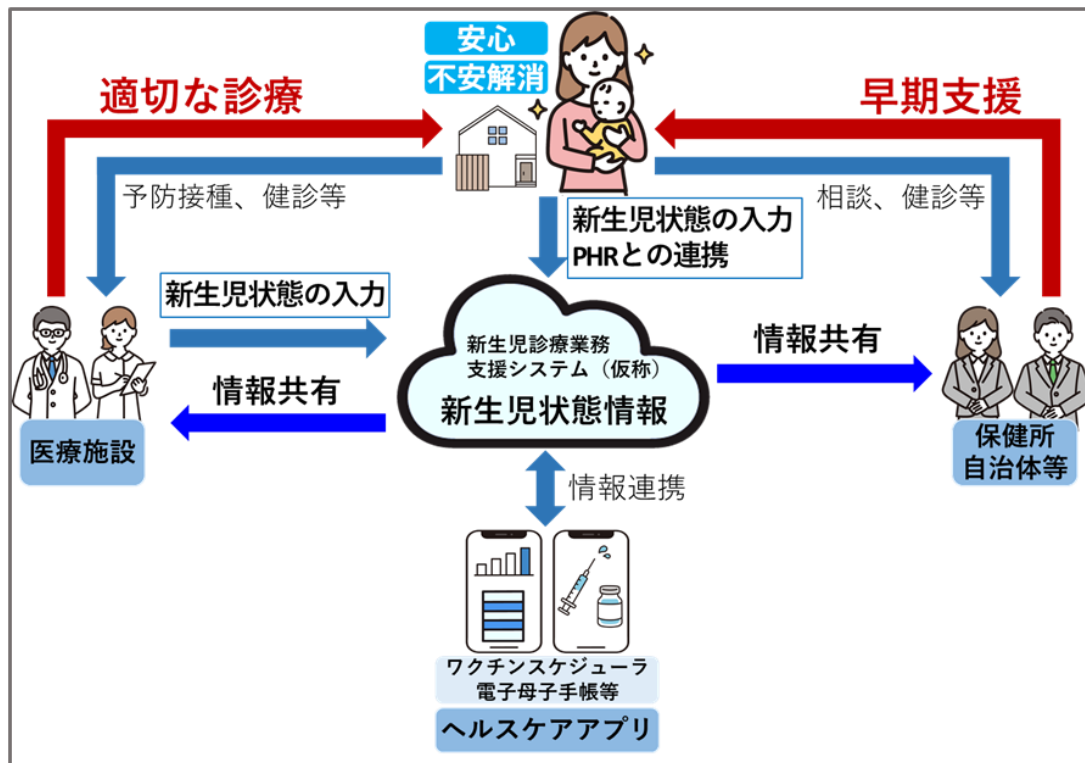
# 新生児診療業務支援システムの利用実装の開始



新生児診療業務支援システムを構築・利用実証開始  
(SDGs関連プログラム)



実用化のための  
ビジネス設計等実施



- 診療支援システムを新生児科領域に拡張。実現に向け、製品・サービスを強化。

- 今後は海外展開、全年齢層への拡張、既存ユーザーへの導入等を推進し、様々なプレイヤーとのアライアンス連携を目指す。



# (株)サンカクカンパニーの株式取得（完全子会社化）

「中期経営計画 2024」の「成長戦略2：既存事業に次ぐ、成長事業の創出」

事業ポートフォリオ拡充、グループ内シナジー創出（ヘルスケア・メディカル分野におけるサービスビジネス加速）を目的としたM&A

## 【事業内容】

企業のオンライン上でのコミュニケーションを3つのパートから支援

### Digital 1

企業・商品の  
リブランディング

企業サイトやブランドサイトのクリエイティブ開発から全体構築・運用

競合やSEO調査、データ分析に基づくコンサルティングから実施します。

### Digital 2

販売促進  
営業促進

SNSを活用した消費者キャンペーンやマーケティングオートメーションの導入

企画立案から販促活動の運営、営業支援システムの導入まで対応します。

### Digital 3

実戦的な  
人材育成

デジタルマーケティングに対応できる企業内のデジタル人材を育成

各種デジタル指標の分析の教育指導やウェブ解析士の資格取得を推進します。



# 目次



2022年9月期 第1四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

医療及び医療情報システム市場の動向

グループ概要

# 電子カルテシステム シェア・当社の特色

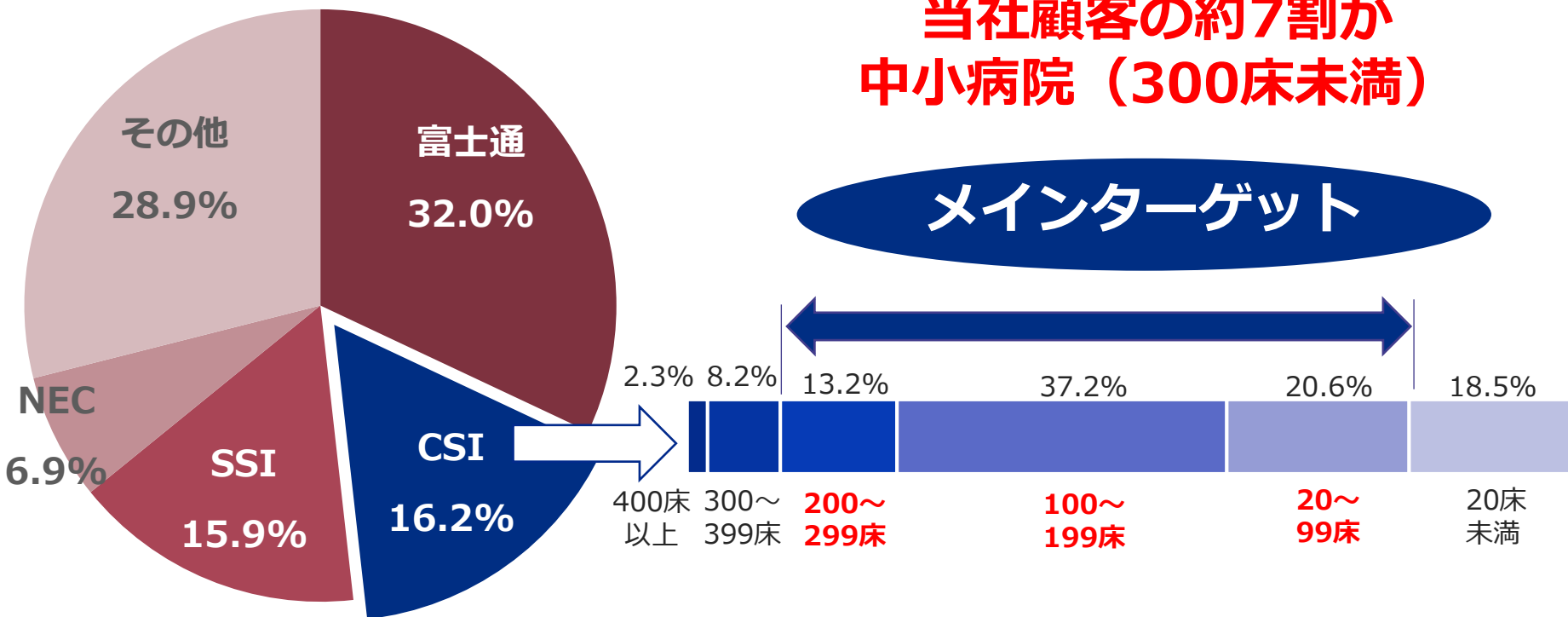


導入件数 国内第2位

中小病院に特に強み

当社顧客の約7割が  
中小病院（300床未満）

メインターゲット



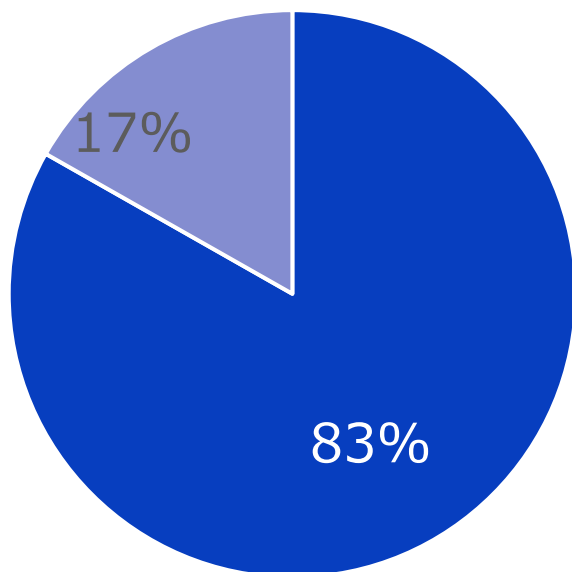
※ 「医療機器システム白書2021」データから当社集計

# 電子カルテシステム導入率



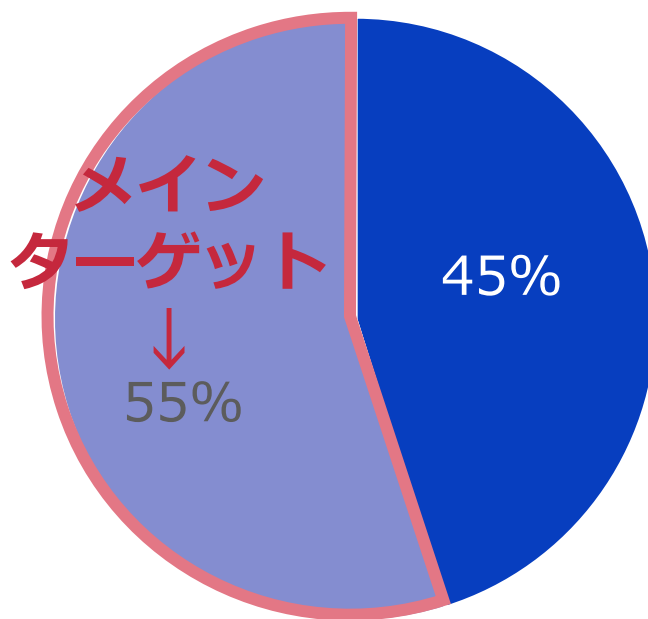
## 大病院

(300床以上)

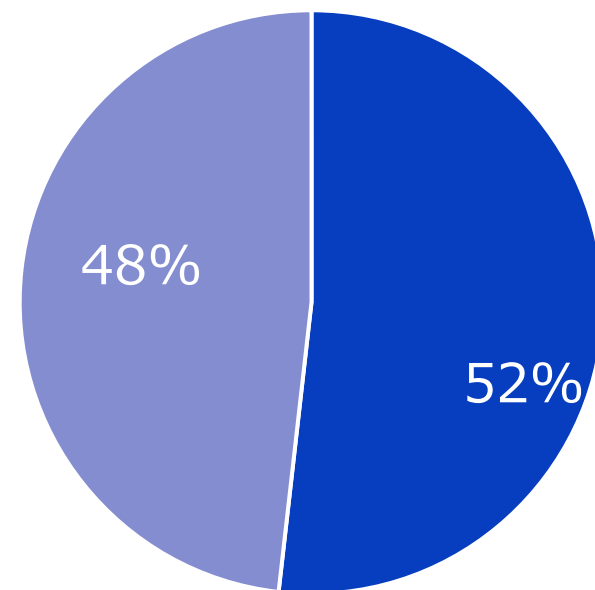


## 中小病院

(300床未満)



## 合計



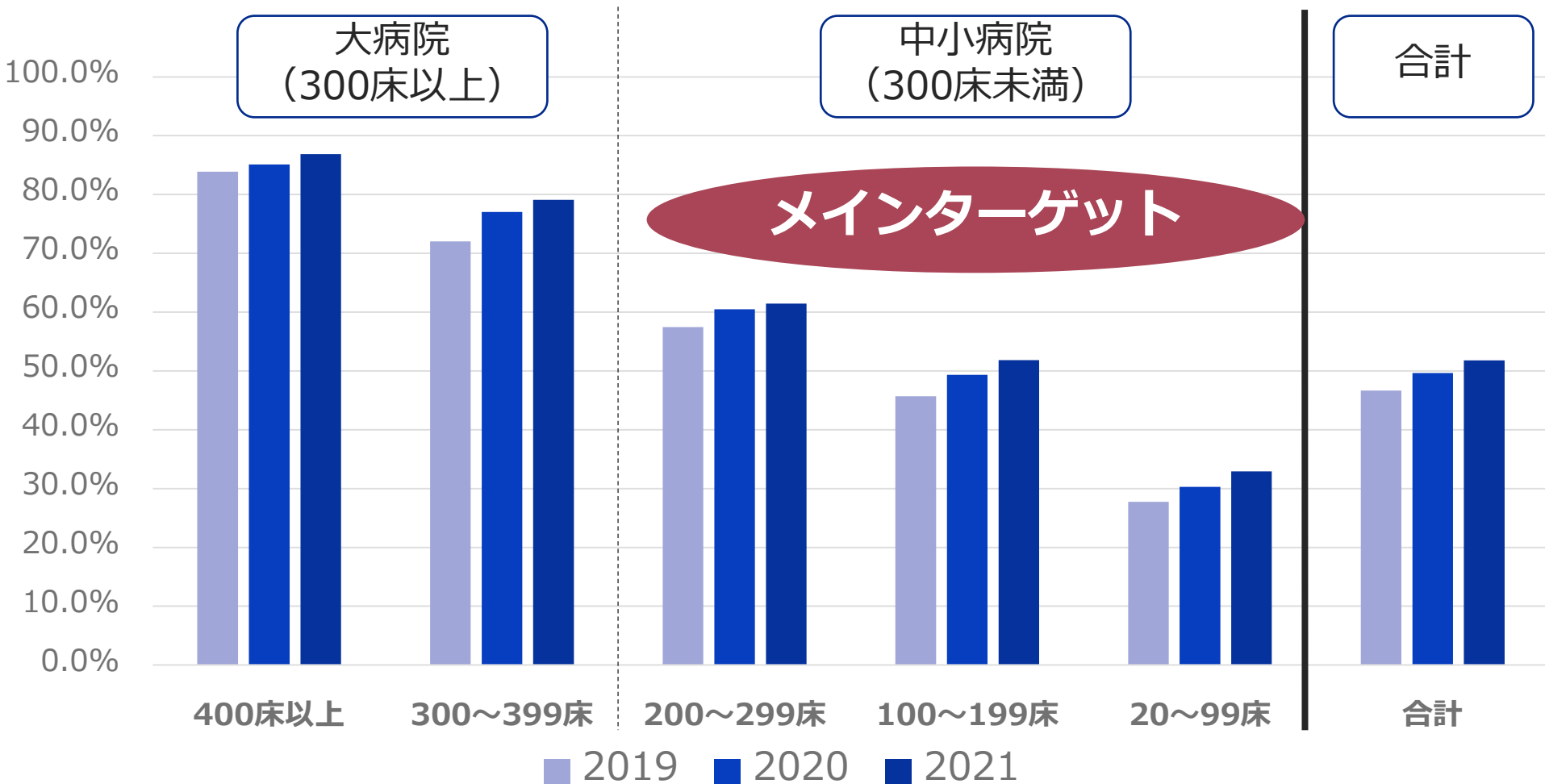
■ 導入 ■ 未導入

※ 「医療機器システム白書2021」データから当社集計

※ 分母となる病床数別病院数のデータは厚労省の集計が遅れており、便宜的に2020年のデータを使用しているため、「大病院」「中小病院」ごとの導入率は正確ではありません。



# 電子カルテシステム導入率の推移



※ 「医療機器システム白書2021」データから当社集計

※ 分母となる病床数別病院数のデータは厚労省の集計が遅れており、便宜的に2020年のデータを使用しているため、病床数別の導入率は正確ではありません。

# 目次



2022年9月期 第1四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

医療及び医療情報システム市場の動向

グループ概要



# 会社概要 (2021年12月末現在)



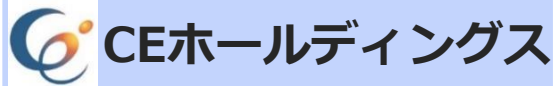
商号	株式会社CEホールディングス
設立	1996年3月25日
資本金	11億7,594万円
所在地	札幌市白石区平和通15丁目北1番21号
代表者	代表取締役会長 杉本 恵昭 代表取締役社長 齋藤 直和
上場市場	東証一部、札証 (証券コード：4320)
主な株主	日本電気株式会社、日本事務器株式会社、 日本生命保険相互会社、 株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行
従業員数	529名 (連結)
連結子会社 ( )内は持株比率	株式会社シーエスアイ (100.0%) 株式会社Mocosuku (57.5%) 株式会社エムシーエス (51.0%) 株式会社マイクロン (70.6%) 株式会社エムフロンティア (マイクロン100.0%) 株式会社デジタルソリューション (100.0%) ※

※ 2021年10月1日付で、株式会社システム情報パートナーと株式会社ディージェーワールドが合併し、存続会社の商号を株式会社デジタルソリューションに変更しております。

# 当社グループの概要



※  は連結子会社



CEホールディングス

略称 CEHD  
設立 1996年3月  
上場会社・持株会社



シーエスアイ

略称：CSI 持株比率：100.0%

電子カルテシステム「MI・RA・Is」を中心とした医療システム開発と受託システム開発



エムシーエス

略称：MCS 持株比率：51.0%

看護業務システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



マイクロン

持株比率：70.6%

イメージング技術を活用した効率的な臨床開発支援



エムフロンティア

持株比率：マイクロン 100.0%

臨床開発に必要な、高度な人材の派遣



デジタルソリューション

略称：DS 持株比率：100.0%

医療情報システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



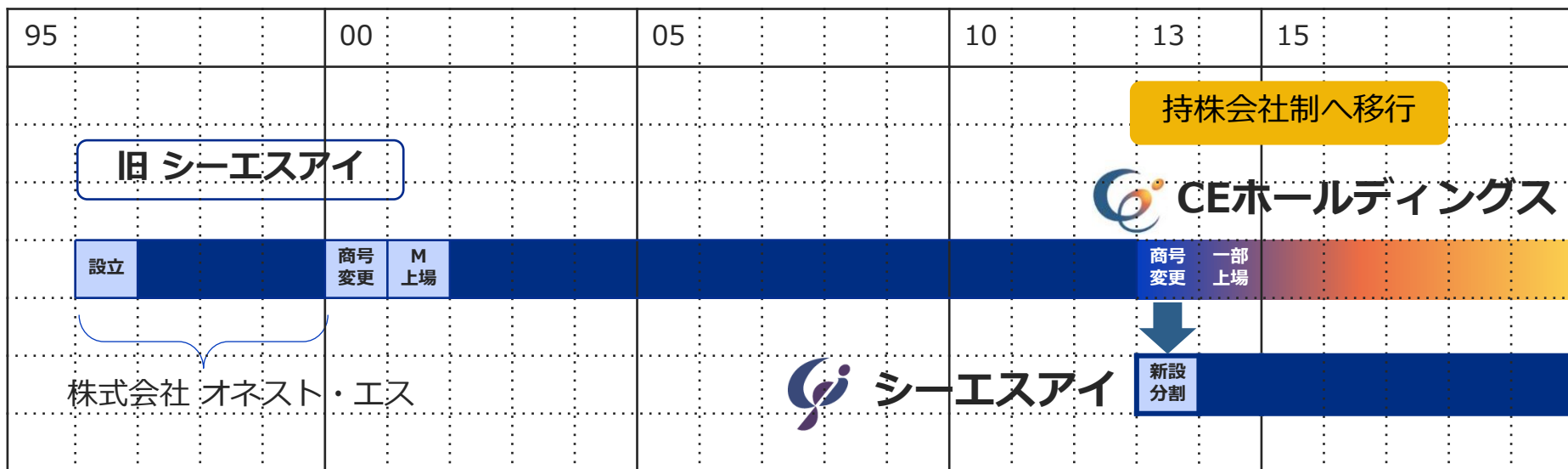
Mocosuku

持株比率：57.5%

Web事業、産業保健事業、人材事業

※ 2021年10月1日付で、株式会社システム情報パートナーと株式会社ディージェーワールドが合併し、存続会社の商号を株式会社デジタルソリューションに変更しております。

# グループの沿革



## 持株会社制へ移行後



【エムシーエス】 2015年 出資



【マイクロン】 2019年 出資

【Mfrontier (イムフロンティア)】 マイクロンの完全子会社



【デジタルソリューション】

システム情報パートナー（2016年 出資）と  
ディージェーワールド（2014年 出資）が  
2021年に合併し、商号変更



【Mocosuku】 2013年 設立

# 事業内容



セグメント	主要な製品・サービス		提供会社
医療 ソリューション 事業	電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」	MI・RA・Is/AZ 等 (介護機能：オプション)	CSI、MCS
	地域医療連携システム	ID-Link	CSI
	医療機関・患者のコミュニケーションサービス	かかりん	CSI
	医療情報システムの受託開発		CSI、DS
	医療情報システムの運用管理（病院内のシステム・ネットワークの運用管理等）		DS
	医療機関向け料金後払いシステム		DS
	医療品・医療機器の臨床開発受託		Micron
その他	ヘルスケア関連情報提供、マーケティング支援	Mocosuku	Mocosuku
	ヘルスケアコンテンツの執筆・監修、健康管理業務の受託		Mocosuku
	デジタルサイネージ		DS

※ 2021年10月1日付で、株式会社システム情報パートナーと株式会社ディージェーワールドが合併し、存続会社の商号を株式会社デジタルソリューションに変更しております。



# 2022年9月期 第1四半期決算補足説明資料

本資料に含まれる業界の動向や分析、今後の見通し、施策等は、現時点における情報に基づき判断したものであります。従いまして、将来の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

投資を行う際は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

(連絡・お問合せ)  
株式会社CEホールディングス  
経営・事業企画室  
TEL.011-861-1600